

質問及び回答

2020年6月16日

バングラデシュ国包括的河川管理に係る計画策定能力強化及び技術適応サイクル構築プロジェクト
(公示日:2020年6月3日、調達管理番号:20a00118)

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書、14頁 別添「プレゼンテーション実施要領」	実施時期について、7月20日(金)と記載がありますが、7月20日(月)との理解で宜しいでしょうか。	7月20日(月)へ訂正します。
2	契約期間の分割について	本件について契約期間の分割はご検討されておりますでしょうか。期分けの具体案がございましたら、ご教示いただけますと幸いです。またその場合は、期ごとの見積書を作成し、提出するとの理解で宜しいでしょうか。	契約期間の分割(期分け)は想定しておりません。見積書は全体期間を対象に作成願います。
3	企画競争説明書、4頁 5.競争参加資格、(4)共同企業体の結成の可否	「結成届には、構成員の全ての社の代表者印又は社印は省略可とします。」とありますが、代表者印又は社印を省略する場合、他の公示案件で指示されているように、プロポーザル格納完了メールを送付する際、その旨と各社の責任者の役職・名前を記載のうえ、各責任者をCCに入れて送付する必要がありますでしょうか。	社印押印が困難な場合は、プロポーザル等の格納完了メールにその旨を記載のうえ、代表会社の契約責任者より送信いただくか、責任者でない方が送信する場合はメール宛先のCCに責任者を入れて送信してください。この際、メール本文内に代表会社の責任者の役職と氏名を記載してください。構成員の会社の責任者については、メール本文への記載と宛先CCに入れることは不要です。
4	50頁 【現地再委託】 パイロット施工	【パイロット施工は、JICAバングラデシュ事務所様が施主となり、現地の施工業者を調達し、JICA専門家チーム(本業務受託者)とC/Pが協	調査、設計、積算、契約図書の作成はコンサルタントがC/Pと相談・調整を行った上で実施願います。パイロット工事はJICAバングラデシュ事務所が施

通番号	当該頁項目	質問	回答
		<p>働して施工監理を担当する体制で行うことは可能と考えてよいか（発注契約に係る図面、数量、仕様書等の作成は JICA 専門家チームが担当する）】</p>	<p>主となり契約事務を行います、コンサルタントにはその支援をしていただきます。</p> <p>また、当該工事の契約書においてコンサルタントのチームリーダーもしくはそれに準ずる方にプロジェクト・マネージャーを委託して発注者権限の一部を授権するとともに、工事契約の監督者を委託し工事の監督業務を実施していただきます。C/P は施工監理を側面支援する他、完工後に JICA から工事の対象物を引き受け、以後の維持管理を行います。</p> <p>なお、調査・設計の結果決定する個別工事の金額の規模によっては、工事自体を本契約の再委託に含める（その場合、施主はコンサルタント）ための契約変更をする可能性があります。</p>
5	<p>P18 (6) 対象地域</p>	<p>対象地域となる「パドマ川」について、以前弊社が受注したバ国の貴機構調査案件では、C/P (BWDB) から「パドマ川とは、ジャムナ川とガンジス川の合流点からメグナ川との合流点までをいう。(参照:ここに添付の図1)」との説明を受けています。本応札案件においてもこの C/P 説明通りで良いでしょうか。</p> <p>なぜなら、例えば貴配布資料の(1)②「詳細計画策定調査報告書案(2019 年度)」に添付される「図7(ページ 26)」及び「表 2(ページ 27)」ではパドマ川に係る範囲が上記の C/P 説明とは異なるようです。</p>	<p>河川の呼称についてはプロジェクト開始後改めて確認が必要ですが、プロジェクト対象範囲は、配布資料の(1)②「詳細計画策定調査報告書案(2019 年度)」に添付される「図7(ページ 26)」及び「表 2(ページ 27)」に記載の A から E までの区間を対象とします。</p> <p>また、管区の記載についてご指摘の部分を含めて指示書に誤りがありましたので以下のとおり再整理いたします。</p> <p>成果 1 の対象管区:ダッカ管区、ラジシャヒ管区、ロングプール管区、マイメンシン管区、バリサル管区、チッタゴン管区</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
		<p>また、「成果 1 および2」に係る管区には、「マイメンシン管区」も含まれるとの理解で良いでしょうか。</p>	<p>成果2の対象管区:ダッカ管区、ラジシャヒ管区、ロングプール管区、マイメンシン管区 成果3の対象管区:チッタゴン管区(指示書通り)</p>
6	<p>P23 5. (5)パイロット施工について</p>	<p>パイロット施工に関し、以下の点を確認させていただきませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 調査・設計、工事業者調達、施工監理、施工、完了後の維持管理に対し、貴機構、相手国実施機関、コンサルタントの役割分担を明示いただけますでしょうか。 ② 用地取得・補償などが生じる場合の対応（住民移転を回避することは承知していますが、住民移転がなくとも用地取得の必要がある可能性があります） ③ 工事契約で使用する入札図書(契約約款) ③ 入札不調又は不落になった場合の対応 ④ 自然条件(水文や地質)に関わる設計変更や工期の遅延が生じる可能性があるが、その場合の費用負担、対応 	<p>質問 5 の回答を踏まえて、以下のとおり回答します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 質問 4 の回答のとおりです。 ② 用地取得・補償は生じないサイト選定を行う想定ですが、もし用地取得が避けられない場合にはC/Pが実施することを前提とします。 ③ 建設工事契約のサンプル図書を事業実施前に共有します。 ④ コンサルタント、JICA バングラデシュ事務所、C/P 間で協議の上対応を検討します ⑤ 設計変更、工期の遅延に伴う費用負担は、コンサルタント、JICA バングラデシュ事務所、C/P、受注者間で協議の上、決定します
7	<p>P.38 D - ②洪水前河道測量調査</p>	<p>「深浅測量調査(広範囲を対象に数回実施)」と記述されておりますが、同一範囲を数回深浅測量するのではなく、数回に分けてひとつの範囲を測量するという解釈でよろしいでしょうか。</p>	<p>同一範囲を数回実施するのではなく、数か所の範囲を選定し実施することを想定しています。</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
8	<p>P.39 F: 構造物の維持管理方法を改善する(活動 1-3、1-4)</p> <p>P.17 1-3-1</p>	<p>下記 (a)、(b) の下線部について、R/D (March 11th, 2020) 内 PDM (Annex 2) に照らし、いずれも「モニタリング・評価・各年のモニタリング報告書の作成方法の検討」と変更してよいでしょうか。</p> <p>(a)「<u>F-① モニタリング・評価の方法を検討し、各年のモニタリング報告書を作成する(活動 1-3-1) (ページ 39)</u>」ならびに</p> <p>(b)「<u>1-3-1 モニタリング・評価の方法を検討し、各年のモニタリング報告書を作成する(ページ 17)</u>」</p> <p>また、「変更可」の場合、「F-①」の活動内容に係る説明文も変更を要します。</p>	<p>ご提案の内容で問題ありません。</p>
9	<p>P.23. (5)パイロット施工について</p> <p>P.41. G - ⑥</p>	<p>P.23 に「JICA 側で資金を負担するパイロット施工 (2 つを想定) は、合わせて 4000 万円程度となる対策工を選定する。」とあります。</p> <p>また P.41 にパイロット施工 2 か所の施工を実施する(現地再委託を想定)とあります。</p> <p>パイロット施工の現地再委託費用として 4000 万円を別見積計上しておくという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>金額は目安となります。パイロット施工はコンサルタント契約には含まれないため、見積計上不要です。ただし、パイロット施工に係る詳細設計は本邦コンサルタントにて対応、EIA に係る調査は再委託を想定しています。なお、想定されるパイロット施工や効果的な進め方・工夫について、プロポーザルにおける記載をお願いします。</p>
10	<p>P.42 I: 中小河川の治水計画策定トレーニング(成果 3)</p>	<p>「1 河川をモデル河川として選定し、OJT で BWDB 職員に技術移転する」とありますが、データ收集整理やデータ分析、計画策定等の一連の作業主体は BWDB 職員で、受注者はその指導を行うという認識で宜しかったですでしょうか(受注者はデータ分析、図表作成等の作業を主体的に実施するの</p>	<p>その認識で問題ございません。中小河川においては、C/P が必要なデータ收集整理やデータ分析、計画策定等ができるようになるまで指導することを想定しております。</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
		ではないという認識)。	
11	P.46 報告書など	プロジェクト事業進捗報告書、プロジェクト事業完了報告書について、「簡易製本」か「製本」なのか明記がありません、ご教示ください。	P46 に記載の以下のとおりとなります。 「プロジェクト事業完了報告書については製本することとし、その他の報告書等は簡易製本とする。」
12	P49. 1.業務工程	<p>「新型コロナウイルスの影響などにより～、<u>最初の1年程度</u>は、既存データの収集・分析を中心として、～」とあります。</p> <p>一方、配布資料⑥のスケジュール表では矢印で「<u>国内作業～2021年4月</u>」とあります。</p> <p>どちらを正とすればよろしいでしょうか。</p> <p>もし、<u>最初の1年程度</u>を正とする場合はいつまでを指すのかご指示いただけますでしょうか。というのも価格競争を想定して、国内作業期間の前提を各応札者で同じにさせていただきたく存じます。</p>	新型コロナウイルスの影響は予測不能のため、どのタイミングで現地入りできるかは未定であり、1年程度国内・現地のどちらでも作業できるように柔軟な対応につき提案・検討可能としています。一方で、現時点では配布資料⑥のスケジュール案が JICA の想定するスケジュールとなります。
13	P.49 2.(2)業務従事者の構成(案)	R/D (March 11th, 2020) 内 PDM(Annex 2)に Experts のポジションとして記載される「Low Water Management」は「低水管理」と訳されることが多いと理解しています。一方、このポジションに対応する左記の「2.(2)」内の専門家担当分野は「⑥低水路管理計画」と推察できます。「低水」の後に「路」が追加された背景・理由などをご教示いただけますでしょうか。	河道計画において低水管理を検討する際に、対応策として河道における低水路計画・管理が主なものと想定したためそのような記載にしましたので、「⑥低水路管理計画」の担当業務として検討の上、ご提案ください。

通番号	当該頁項目	質問	回答
14	P49. 3.相手国の便宜供与	<p>「2020年3月11日に署名したR/Dに基づき、C/Pの配置、事務所スペースの提供、プロジェクト実施に必要な支出などが確保される」とありますが、</p> <p>1) 事務所スペースの提供には光熱費、水道代などランニングコストも含まれていることよろしいでしょうか。</p> <p>2) 「プロジェクト実施に必要な支出など」とありますが具体的に何を指しますでしょうか。</p> <p>3) 上記の質問と関連しますが、机、イス、プリンター複合機、インターネット設備など必要な備品、資機材は計上すべきでしょうか。またそれは本見積、別見積どちらに計上すればよいでしょうか。</p>	<p>1) 事務所スペースの提供には光熱費、水道代などランニングコストも含まれます。</p> <p>2) 「プロジェクト実施に必要な支出など」とは、例えば成果2のパイロット施工の段階でバングラデシュ側の支出負担や成果3で独自に治水計画を策定する際の必要な支出等が想定されますが、現時点で具体的な支出が想定されている訳ではありません。</p> <p>3) 机、イスの執務室備品は先方が準備する執務室に揃っています。プリンター、インターネット回線は先方からの便宜供与も考えられますが、利便性等に鑑みて、必要な場合は見積書に計上可能です。その場合、本見積りとなります。</p>
15	P.50 【現地再委託】【成果1・2:ジャムナ川・パドマ川】	<p>現地再委託として「パイロット施工・それに係るEIA」とありますが、パイロット施工の詳細設計も再委託に含まれるという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>詳細設計についてはコンサルタントが担当することを想定しています。</p>
16	P.22 (3)河道変動メカニズムの法則性の把握	<p>過去の河道変動を衛星画像、縦横断測量結果等から時系列に把握し、とありますが、さらに下段では、衛星画像データや測量データを含む既往の</p>	<p>それらの情報収集・整理から本業務に含まれます。</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
		<p>関連データ等、とございます。 既往の衛星画像データについて、カバーしている範囲や、解像度、DEM データ等の情報を教えて頂けますでしょうか。</p>	
17	<p>P.38 河道変動メカニズムに係る仮設の検証 D-③地盤高測量調査</p>	<p>既往調査等で得たライダーデータ、オルソフォトがあれば、とございますが、ライダーデータの有無は現時点で分かるのであれば、その範囲を教えてください。</p>	<p>プロジェクトの中で選定された地点において、既往の調査にてライダーデータ等のデータがあればという意図となりますので、現時点で同データ等が当該地域にあるかどうかわかりません。また上記のとおり既往調査によるデータの有無の確認は本業務に含まれるとの認識です。</p>

以上